

中国・大連理工大生が来青



野坂充町長(手前右)と懇談する大連理工大の学生

横浜

中国の大連理工大の学生ら20人が17〜23日、青森県を訪れ、エネルギー関連施設などを

を視察した。19日は六ヶ所村の風力発電所や太陽光発電施設を見学した後、横浜町で1泊し、同町の魅力に触れた。

各地の再生エネ施設視察

一行は弘前大との教育・研究に関する交流協定に基づき、毎年訪問。今回は、同村の施設や平川市の津軽バイオマスエナジーなどを巡った。期間中は、弘前大生との交流や県内の観光地なども訪問したという。

19日は同村の見学を終えた後、宿泊する横浜町に到着。町役場を訪れ、野坂充町長と懇談した。

野坂町長は同町の風力発電に関する実績や考え方などを説明し、「エネルギーだけでなく県内の歴史や文化も学んでほしい」と歓迎。学生からは「町全体で再生可能エネルギーに取り組む姿勢に驚いた」などの意見が出た。(藤村大地)

※この画像は当該ページに限ってデーリー東北新聞社が利用を許諾したものです。

デーリー東北新聞社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp